



●三春滝桜にありがとう

毎年この季節になると、駅に三春滝桜のポスターが貼られ、一度見たいなと思っていましたが、チャンスがありませんでした。満開の桜に出会えるかどうか不安でしたが、2ヶ月前に予約を入れました。

三春滝桜は、みちのくの小さな城下町三春町、三春ダム湖近くのくぼ地にぼつんと1本生えた、枝葉の桜が滝桜です。大きな、ごつごつした木肌の老木ですが、東北の遅い春の陽ざしを浴びると、生まれ変わったように紅色のほとばしる滝のような可憐な花を咲かせます。枝張り樹齢1000年以上と推定されます。

今年は開花が遅れ、私たちが訪ねた時は、ちょうど満開をむかえていました。周りを菜の花に囲まれ、菜の花の黄色と桜の紅色の、抜群のコンビネーションに感動でした。春風に揺られ、小さな紅色の花



を無数に咲かせ、まさに滝が流れ落ちるかのように見えます。時の流れと、見る人に生きる力を与え、とても力強く、来てよかった、なんてラッキーなんだろうと幸せを感じました。見る人に生きる力を与えてくれる陰には、滝桜の管理・応急処置や、桜の保護保存、周辺環境の整備などにご苦労してくださる人たちがいるからこそと感謝しています。ありがとう。

(杉並区/K・I)

●自然の恵みにありがとう

僕の住んでいる山武市はいわゆる「田舎」です。都心から車で90分・距離にして60Kmの所ですが、それはもう筆舌につくし難い場所です(笑)

唯一の取り柄は「大自然が身近にある」ということです。桜が散った後は、視線を下げるとつじが、視線を上げると藤の花が満開です。空にはつばめが舞い、木々ではウグイスが鳴き、吹きゆく風は爽やか、



そしてこの時期にはタケノコ狩りが出来るのが最大の楽しみです！雨後のタケノコ」という言葉があるように、雨が降った翌日にはいきなり50cmくらい伸びていてビックリします。3週間ほどの間が「収穫期」ですが、地主さんのご好意によりたくさん掘らせていただいて、ご近所やお世話になっていらっしゃる方々にお届けしています。「ヒトのフンドシを借りて」皆さんに喜ばれるは、

地主さんからは「山が竹やぶにならずに綺麗になって助かる」と感謝されるはで、僕も嬉しい限りです。子ども達も日頃から自然に親しみ、五感で楽しんでるようです。都心への通勤にはギツイ場所ですが、目でも舌でも四季を感じられるこの田舎の大自然にありがとうと大感謝です！

(山武市/鶴川和宏)

●お返事をありがとう

春は出会いと別れの季節。数十年前に出会ったNさんは新卒の潑刺とした小学校の女性教師。その人から定年退職したという丁寧な挨拶状をもらった。何と、38年間休むことなく教師生活を送り、児童の教育に貢献してきた。結婚してSさんの名前が変わった。この長い年月の間には、つらかったこと、楽しかったこと、忖度できる。

同じ教師生活を送った身として、いかに好きな道としても、成長期の生身の児童を育てることは、生半可な思いでは全うできない。一人の児童の背後には、兄弟姉妹、保護者、祖父母その他大勢の人がいる。その人たちの期待に沿いたい。若い教師でも学級を任せられれば、一国一城の主。そんな思いが挨拶状の行間から読み取れる。私は「報いるためによりがんばりました。その努力に花丸をあげます」としたため返信した。Sさんは、どんな実績があったのだろう、考えてみると、自信がもてなかつたお返事を書いてきた。花丸が嬉しかった、



自分のしてきたことをほめてもらい、気持ちが悪く落ちてきた。自分なりにがんばって来たかと振り返ることができた、とても素直な気持ちをつづつてきてくれた。私の方こそ、私の文を読み、一区切りができたこと、よかつたなとつくづく思う。Sさん、将来に向かって、また教える機会があったら、何かしたいと書いています。Sさんのことだから、よい出会いがあると思う。まだまだ長い人生が待っている。いつも前向きなSさん、お返事をありがとう。(目黒区/H・O)

●商店街にありがとう

マンションを借りるため、何件か見て回りましたが、希望する所が見つからず、駅から遠いなど思いましたが、丁度条件がそろっていたので今の所に決めました。初めは知らなくてバス通りで通勤していましたが、お休みの日に散歩しているとアーケードの商店街が続き、ずつと行くと思えました。



次の日からは商店街を通って通勤をしました。雨の日も傘も差さずに、家路に着け、晴れの日も日傘になり、北風が吹いても風よけになり、また勤め帰り夕食の買い物もでき、生活必需品が何でも手に入り、勤めている私には大変便利でここに決めて本当に良かったと思っています。ちょっと遠いなど思った道も、今は楽しい通勤となり、私を助けてくれるありがたい商店街です。(神奈川県/A・K)

●宇宙の奇跡にありがとう

街がピンク色に染まる、桜の季節がやってくる、日本に生まれて良かったぐらいにしか思っていないで、しかし、先日テレビで、地球の成り立ち、そして四季があるのは、月の引力と地球が少し傾いているお陰であること、不思議と奇跡に感謝だなと思いました。

そして、毎年この季節には、気の置けない友人とお花見をしなから語り合っているのが何よりのひと時です。今年はこのお花見を楽しみましょうと思っていれば、友人より、近くの東工大のキャンパスを開放しているので行ってみたいと言われ、近所なので外からは眺めていたのですが、中に入ったのは初めてで、入ってみるとビックリ。それは見事な桜が一面に咲き、学生たちに交じって一般の方々も桜を楽しんでいました。

またもう一つの楽しみが、大学なので学食が食べられると言うのです。何十年前の学生時代に戻ったようなウキウキ気分、学生たちと一緒に、おいしい「カツカレー」を食べてきました。今年のお花見は、ちよつとお得な楽しみ方が出来ました。

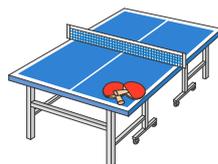
(目黒区/D・S)



●孫の頑張りのおかげ

5年生になる孫が卓球が大好きで、誰にも負けたくない負けず嫌いな性格は、次女の小さな時にそっくりです。何ごとともすぐ頑張るがんばり屋さんです。今度の大会で優勝するとアジア大会に出場が決まるそうです。

父親は工務店に勤める大工さんなので、親がいつでも練習できるよう1階がスポーツジム、2階が住まいで家を建ててしまいました。格的になってきました。子どものためにここまでできる次女夫婦には感心しました。



何ごとともとことん頑張る親子ですが、忙しいのにお彼岸を忘れず、おじいちゃんのお墓参りに来てくれました。私は孫に「おじいちゃんもあの世で応援して見守ってくれているからね。努力しなさいね」と励まします。私はいつも孫から元気をいただいております。

(東京都/H・S)

●同窓会のおかげ

昨年の春、いつものようにバスに乗った。すると向かい席から声をかけてきた男性がいた。「〇〇先生？は、△△です。覚えてますか？」名前を聞いた途端、私は飛び上がった。



私が初めて最後の卒業学年を担任した時のあの△△君である。子供時代の面影はそのまま残っているが、今や立派な中年男性。向こうから声をかけてくれたのであろう。おそらくは気づかなかったであろう。希望して担任したが、色々私を悩ませたクラス。いじめがあり、暴力あり、学級崩壊寸前まであった。忘れられないクラスでもあった。

それから私の降りる停留所までの10分間程、車内に他の乗客がいるのも

忘れて昔話に花が咲いた。停留所が近づき、別れ際に携帯番号を教えあう。後でメールをするとのこと、便利な時代になったものつくづく思う。

帰宅後、程なくしてメールが入った。「私学、公立と中学は別々になったけど、公立組は他の組の者とも仲良しになって、今では1・2・3・4組一緒に、男子組は時々会って飲み会やったりよ」でも、皆それぞれ進路も異なり、仕事の関係で夜間、休日が逆になる。忙しい者もいてなかなか会えないんだ。そして「近いうちにみんなで同窓会をやりますよ」と。

それから数ヶ月後、ついに実現。しかし、女子組は皆子育て中であり、なかなか同窓会にも参加できない。また遠方在住者は来れないということが分かった。ならば2部制でやりますよ。即ち午後の部、夜の部という具合に」と提案。近くの区民集会所を借り、当日は、まず子連れ同窓会から始まった。

午後のおやつタイム、おしゃべり中心の会。男女16名程。そして、夜の部は美味しい中華で飲み会。こちらも男女20名程と。皆、其々に思い思いの楽しいひとときを過ごした。

最後に一言と挨拶を頼まれた。「みんなに逢えて本当に嬉しかった。私は今はおひとり様だから孤独死が心配です。だから皆さんはまだ若いのだから、できればいい連れ合いを見つけてくださいね」といったら、帰り際、やんちゃ坊主だった日君が名刺をくれて「何かあったら連絡していいよ」と。楽しいことは勿論の事、心がほっこりする同窓会でもあった。ありがとう心優しいみんな。

(品川区/A・N)



【携帯Deジヨット】

毎年、端午の節句が近づく頃になると開花する矢車草。キク科で矢車菊(ヤグルマギク)と呼ぶのが正式らしい。鯉のぼりの竿の天辺でクルクルと回る矢車に見立てた名前も何故か懐かしさがあった。【花言葉】繊細 優美 愉快 優雅 幸運 幸福



【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖縄までの友人知人から寄せた「ありがとう」のこぼれに因り、俳句、短歌、写真、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。作品は編集部まで送ってください。投稿いただいた方には、お礼の品をご用意しております。



編集へのご意見やご提案がございましたら是非ともお聞かせください。



●携帯電話の方はQRコードから →→→
●パソコンの方は下記のURLから ↓
<http://1039.seesaa.net/>
●メールでのご投稿は…
info@arigatou-mail.com
【編集・企画】株式会社ありがとう・不動産 編集部
●株ありがとう・不動産HP <http://www.arigatou-1039.com/>

